

## 社会保険 非正規の適用拡大

# 主婦層45%が容認

十月からパートなど非正規で働く人への社会保険の適用対象が、従業員百人以上の企業に拡大される。

民間調査によると、主婦層の45・1%が「仕事をする際の希望条件に影響はない」と考えていた。「働き控え」を懸念する声もあったが、容認する人が一定程度いることがうかがえる。一方で、手取り額減への警戒も見られた。

一定の条件（週二十時間以上の労働など）を満たした五百人以上の企業のパート従業員らは、これまでも厚生年金や健康保険への加入義務があった。十月からは百人以上の企業に拡大。働き方によっては配偶

者の扶養から外れ世帯収入に影響する可能性がある。

主婦向けの人材派遣会社「ピーススタイルホールディングス」（東京）の調査機関「しゅふJOB総研」が七月に調査。五百十人から回答を得た。仕事の希望条件に対する影響を複数回答で聞くと「影響はない」が45・1%で最多だった。「今より給与を高くしたい」（24・1%）、「制度をよく知らず分からない」（16・5%）と続いた。適用拡大を「知っている」は50・6%だった。自由記述では「今後は扶養枠に縛られずに働く社会になった方がいい」などと前向きな意見が目立った。